

保護者、地域の皆様に支えられて 第2回学校評価結果とこれまでの取組について



3 学期となり、年度のまとめをする時期となりました。三郷小学校では今年度も基礎的・基本的な学力の定着及び、地域人材や外部講師を招いての体験活動の充実を図ることにより、子供たちが成就感や自己肯定感を味わえるよう取り組んできました。修学旅行、臨海学校、社会科見学等では、子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。今後もより分かりやすい授業が展開できるよう、職員一同研修を進めてまいります。

さて、第2回学校評価も多くの保護者の皆様に回答いただき、ありがとうございました。第2回学校評価の結果とそれを受けての取組をお知らせします。まずは、保護者の方からいただいた励ましの言葉の一部を紹介させていただきます。

小学校生活を楽しんでおり、毎日安心して通わせることができている。日々の授業、行事への取組など、いつもありがとうございます。

運動会で子ども達の頑張りが見られてよかったです。

細かいところまで気遣いをしていただけなので安心していきます。また、二者面談では得意も不得意もきちんと指摘していただき、アドバイスもただけでありがたかったです。

クラスに恵まれ、毎日楽しく登校できる姿に感謝するばかりです。担任の先生をはじめ先生方が子供を信頼し接する態度から、子どもも安心して生活できていると感じています。引き続き、サポートをよろしくお願いいたします。

運動会でのマーチングにとっても感動しました。

登下校などで長寿会や地域の皆さんに見守られていることがわかり、ありがたく思います。

苦手や不安をわがままと捉えず、少しずつできることに挑戦する機会をいただいたり、方法を一緒に考えていただいたりし、感謝しています。

休み時間に先生がたくさんお話をしてくれると言っていました。「先生と話をするのが楽しいから学校に行きたい」、「先生がほめてくれるから学校に行きたい」、二学期は何度もそんな話を本人から聞きました。

大人数の学級ですが、先生が一人一人を大切に関わってくださっていることが子供の話から伝わってきます。いつもありがとうございます。

5 年生になり、高学年としての自覚や責任を持てるよう指導していただきありがとうございます。自信を持って行動でき、逞しくなってきたと感じています。

日々、子ども達に寄り添っていただき、ありがとうございます。おかげ様で何事にも一生懸命に頑張ろうとする姿が見られ、成長を感じています。先生に認められることで、「頑張ろう」「挑戦してみよう」という気持ちになっています。

毎日歩いて登校し、良い顔で帰ってくる。普通のことですがこの日常がとても幸せです。二者面談では、先生がよく息子のことを見てくださっていて、友達からも愛されている事を知ることができ、親としてとてもうれしく思います。

第2回学校評価結果(左表:児童、右表:保護者)

児童学校評価(3~6年)		R7 第2回	R7 第1回	比較	評価
1	勉強は分かりますか。	93%	96%	-3	A
2	タブレットやデジタル教科書を使った授業は分かりやすいですか。	96%	92%	4	A
3	家庭学習や読書は、自分からすすんでやっていますか。	76%	81%	-5	C
4	授業は、チャイルド着席やあいさつ、よい姿勢、話し方、聞き方など「三脚の子の学習」のようによくなりますか。	89%	92%	-3	B
5	英語の学習で、先生や友だちと英会話やゲームをするのは楽しいですか。	84%	86%	-2	B
6	進んであいさつしたり、はっきり返事をしていますか。	92%	93%	-1	A
7	自分勝手や、わがままを言わないなど、相手のことを考えて行動していますか。	94%	95%	-1	A
8	先生は、いじめられたときなどによく話を聞いてくれますか。	96%	94%	2	A
9	先生やまわりの子から、認めてもらったりほめてもらったりして、うれしかったことはありますか。	95%	95%	0	A
10	学校は楽しいですか。	90%	89%	1	A
11	「早寝・早起き・朝ごはん」などの、きそく正しい生活をしていますか。	86%	87%	-1	B
12	テレビを見すぎたり、ゲームをしすぎたりしないようにしていますか。	66%	73%	-7	C
13	体育の時間などで、体を動かすことが楽しいと感じていますか。	88%	90%	-2	B
14	火事や地震などが起きた時や、不審者が来た時のげ方は分かりますか。	98%	97%	1	A
15	正しい歩き方や安全な自転車の乗りかた(3年は道路では乗らない)は分かりますか。	98%	96%	2	A
16	通学路や遊び場などの、あぶないところは分かりますか。	98%	99%	-1	A
17	通学路で、交通事故や不審者に気をつけて歩いていますか。	94%	97%	-3	A
18	これからの、ゆめやきぼうについて考えることがありますか。	82%	85%	-3	B
19	読み聞かせや授業のお手伝いなど、ボランティアの人はたくさんいますか。	94%	97%	-3	A
20	授業では、自分の考えや意見を伝え合い、交流し合うことができますか。	85%	89%	-4	B

保護者学校評価(1~6年)		R7 第2回	R7 第1回	比較	評価
1	学校のホームページや「おたより」などで学校や子どもたちのようすがわかりますか。	96%	95%	1	A
2	授業参観や懇談会に出席しましたか。	97%	97%	0	A
3	学校に連絡や相談がしやすいと思いますか。	96%	93%	3	A
4	お子さんは、教科等の基礎・基本が確実に身に付いていると思いますか。	87%	83%	4	B
5	お子さんは、タブレット等ICT機器を使った授業はわかりやすいと思っていますか。	91%	87%	4	A
6	学校は、お子さんの学力や努力を適切に評価し、その結果を生かしていると思いますか。	92%	89%	3	A
7	お子さんは、家庭学習や読書(塾などを含む)をすすんでするようになったと思いますか。	67%	63%	4	C
8	お子さんは、英語の学習が楽しいと思っていますか。	73%	75%	-2	C
9	お子さんは家庭や地域などで、よく体を動かして遊んでいますか。(体を動かす習い事も含む)	73%	72%	1	C
10	授業参観のときなど、お子さんの学習に対する態度はよいと思いますか。	92%	89%	3	A
11	進んであいさつしたり、はっきり受け答えができる子に育っていると思いますか。	77%	78%	-1	C
12	相手の立場や気持ちを考えて行動できる子どもに育っていると思いますか。	89%	87%	2	B
13	学校は、いじめの発生防止や解消に努めていると思いますか。	93%	90%	3	A
14	お子さんは、家庭で「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活をしていると思いますか。	78%	86%	-8	C
15	お子さんは、家庭でテレビなどを見すぎたりゲームをしすぎたりしないようにしていると思いますか。	18%	16%	2	C
16	学校の施設設備は、安全管理が徹底していると思いますか。	92%	88%	4	A
17	学校は、防犯や避難などの安全確保に努めていると思いますか。	95%	91%	4	A
18	お子さんは、正しい歩行や自転車の乗り方ができていると思いますか。	90%	88%	2	A
19	通学路の危険箇所や緊急時について話し合っていますか。	75%	72%	3	C
20	これからの夢や希望について、親子で話すことがありますか。	71%	67%	4	C
21	学校は、PTAや長寿会などの方々と協力して登下校の安全を図っていると思いますか。	94%	92%	2	A
22	学校は、ボランティアの方々活躍していると思いますか。	94%	95%	-1	A

※ アンケート回答の際の選択肢は、A:よくできている、B:だいたいできている、C:あまりできていない、D:できていないの4つです。集計結果の数値は、AとBの肯定的評価の合計で示しました。

※ A・B評価の割合(%)が、100~90を超えるものは「A」で大変良好、90未満~80以上は「B」で良好とし、両評価については、これまでの指導を継続して行ってきました。80に満たないものは「C」で示し、以下の2の「読み取りと今後の重点や改善の手立て」により取り組んでいるところです。

※以下については、自由記述で記載いただいた内容への回答も含むことをご承知ください。

2 読み取りと今後の重点や改善の手立て

(1) 「確かな学力」について

○家庭学習の定着（児童設問3、保護者設問7）（児童 81%→76%、保護者 63%→67%）

家庭学習の定着では、児童が5ポイント下降、保護者が5ポイント上昇しました。また、児童、保護者ともに、学年が上がるほどポイントが下がる傾向があり、児童、保護者ともに「C」でした。

【今後の取組】

- ・ 児童が学習内容を理解して家庭学習に主体的に取り組めるように、より分かりやすい授業となるよう工夫していきます。
- ・ 授業では結果のみを覚えるのではなく、どうしてそうなるのかといった思考を深めていくことを通して一人一人の学びが楽しくなるように努め、自主学習への興味関心を高めます。
- ・ タブレット端末等を活用することで関心を高め、学習意欲の向上や習慣化を進めます。
- ・ 宿題については、学年や学習単元に応じて量と質のバランスを工夫していきます。宿題の意欲向上につながるよう、わかる授業となるよう職員研修を進めます。

(2) 「規則正しい生活」について

○早寝早起き朝ごはん、テレビ等を見る時間（児童設問11、12、保護者設問14・15）

上記規則正しい生活については児童、保護者ともにB評価及びC評価となりました。また、「早寝早起き朝ごはん」は児童、保護者ともにポイントが下がりました。

【今後の取組】

- ・ 規則正しい生活の定着は、お子様の心身の健全な成長に欠かせない要素だと考えます。寒くなると早起きがしにくくなりますが、保健や学活の授業等、色々な教育活動を通して、規則正しい生活について考える機会を設けていきたいと思えます。また、テレビやゲームの時間についても考える時間を設けていきたいと思えます。
- ・ ご家庭でもテレビやゲームについて親子で話し合ったりルールを決めたりする等ご協力いただけると幸いです。

3 自由記述欄の回答及び進捗状況

Q1 運動会について

A1 「運動会の競技数を増やしてほしい」「競技が少なく、盛り上がり欠ける」というご意見をいただきました。現在、各学年の徒競走とダンスまたはマーチング、団対抗リレーがあります。三郷小は児童数が多いため、現在でも何とか午前中に終わらせることができる状態です。競技数を増やすこととなりますと午後競技を行うことになり、お弁当を準備していただくことになるため、競技数を増やすことは難しいです。競技の種類については、どのようなものが適切か、検討をしていきたいと思えます。また、徒競走で判定の間違いがあったというご意見もいただきました。各レースを動画撮影しており、判定が難しい場合は動画を見返して判定をしております。今後も判定間違いのないようしっかりと対応していきたいと思えますが、着順に疑問をお持ちの場合はできるだけ早く職員に声をかけていただけると幸いです。

Q2 tetoru の配信の間違について

A2 totoru で配信されたお便りの間違についてご意見をいただきました。間違のあるお便りを配信いたしまして申し訳ございません。今後はしっかりとチェックをしてから配信いたします。

Q3 学級数について

A3 1学級の人数が多いため、学級の数を増やしてほしいというご意見をいただきました。学校としても学級数を増やしたいのですが、1学級の人数は法律によって全学年35人以下と定められています。群馬県は「ぐんま教育ビジョン実現プロジェクト」として、小1・小2は30人以下、小3から中3は35人以下と独自の基準を設けています。弾力的な運用もできるとありますが、専科教員が減るなど、極めて難しいものとなっております。児童の数は多いのですが、担任をはじめ学校全体で児童の対応にあたってまいりますので、ご理解いただけると幸いです。

Q4 校門は誰が閉めているのか、だれでも学校内に入れるので不安

A4 児童の登校後、交通指導員さんが好意で校門を閉めてくださることがあります。また、8時15分以降、労務技士が校地内を回り、校門を閉めたり危険はないか見回ったりしています。

Q5 体育館のトイレ、校庭のトイレ、校舎脇側溝について

A5 「体育館のトイレを洋式にしてほしい」、「外のトイレを整備してほしい」、「校舎脇の側溝が危険だ」というご意見をいただきました。この件につきましては、学校からも市へ何度も要望を出しております。校舎脇側溝については、今年度中に対応が始まるそうです。また、体育館のトイレについては、来年度以降、洋式化に向けた対応が始まりそうだという回答をいただいております。

Q6 連絡帳について

A6 3年生以上の学年では、タブレットを毎日持ち帰るようになったことに伴い連絡帳を classroom で配信していることについて、「連絡帳を書かせてほしい」「どんな宿題が出ているのか親が知りにくい」といったご意見をいただきました。ご意見をいただき、ありがとうございます。タブレットが持ち帰りになり、子ども達は毎日タブレットに触れることに慣れ始めたところです。タブレットをどのように活用していくか検討中ですが、ご家庭でもお子様と一緒にタブレットをご覧いただけると幸いです。

Q7 集金について

A7 集金が振り込みになったことに関して、「手数料がもったいないから回数を減らしてほしい」、「未納者だけに連絡をしてほしい」といったご意見をいただきました。振込手数料を各家庭でご負担いただき、ありがとうございます。集金額については、昨年度（R6年度）の集金額を参考に、各家庭に負担になりすぎないように設定しています。回数を減らすと1回の集金額が多くなり、負担になる家庭も出てくると思われます。また、未納の連絡方法については検討をしていきたいと思っております。集金の振り込みは今年度からの新しい取り組みのため、職員も試行錯誤の段階です。より適切な方法を検討していきますので、ご理解いただけると幸いです。

Q8 持ち帰る荷物が重い

A8 児童の荷物についてご意見をいただきました。月曜日と金曜日は体育着や上履きがあり、重くなってしまう。学年や学級により、持ち帰る物の種類やタイミングを工夫し、できるだけ児童に負担のないようにしています。また、教科書やノート等についても、宿題で使わないものは持ち帰らなくてもよいことになっています。

Q9 学校を通して購入する物にキャラクターの物がある

A9 学校ではキャラクターものは使わないというルールになっているが、学校を通して購入する物にキャラクター物があるのはおかしいというご意見をいただきました。業者は様々な学校へ販売しているためキャラクターものを全て省くことは難しいですが、可能な限りキャラクターものではないものを入れてもらうように相談していきます。また、鉛筆や消しゴム等はお子さんが授業に集中できるよう、引き続きキャラクターものを避けていただくようお願いいたします。